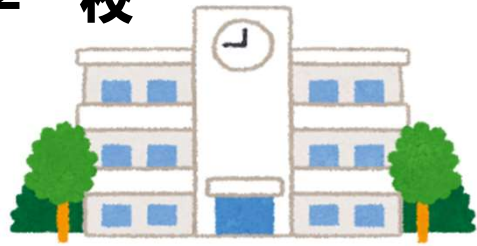


コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的な取り組み

2つの仕組みは両輪であり、両者が連携・協働をしながら同じ方向に進む必要がある。コミュニティ・スクールの仕組みと地域学校協働活動の様々な活動を組合せることで、それぞれがもつ役割が十分に機能し、相乗効果を発揮して学校を含めた「人づくり・つながりづくり・地域づくり」をすすめるもの。

コミュニティ・スクール (学校運営協議会)

学 校



『地域とともにある学校づくり』

学校運営協議会 (合議体)

学校と地域が育てたい子ども像や目指すべき教育のビジョンを共有し、目標の実現に向けて役割分担を明確にしながら協働していく仕組み。

委員は校長の求めに応じて意見を述べるだけでなく、一定の権限と責任をもって参画し、学校と対等な立場で学校運営に「合議体」として意見を述べるができる。



協議・熟議の場

地域学校協働活動

学校と地域で課題・目標
ビジョンの共有

コーディネーター
(つなぎ役)



地域学校協働
活動推進員

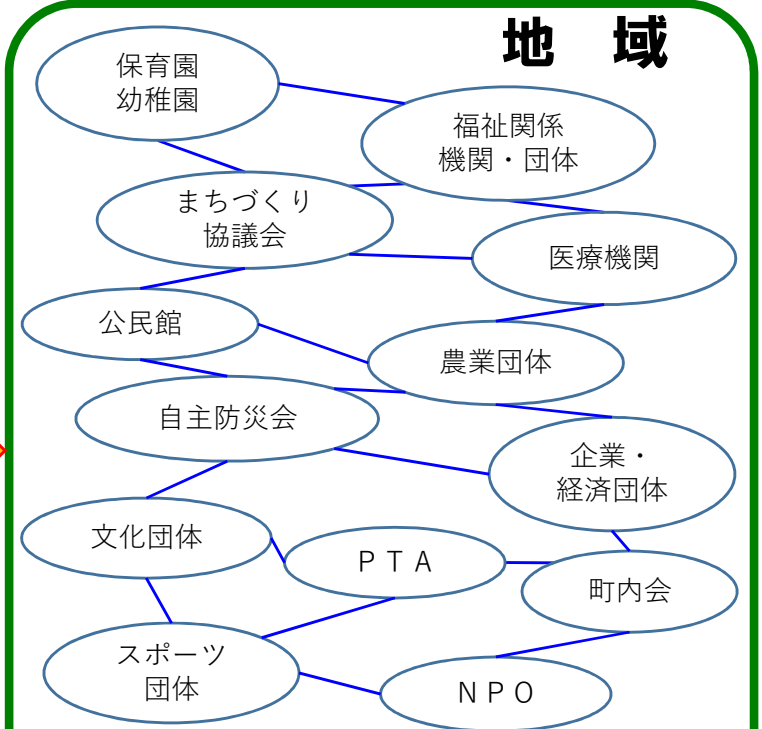


協働・連携

持続可能な
仕組みづくり

地域学校協働本部

地 域



緩やかな地域内のネットワーク

『学校を核とした地域づくり』

実行(実働)の場